

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	ホール等共用空間に、もう少し季節感を持たせたり、利用者の五感を刺激する工夫をすることで、利用者により身近な自分たちの住居という思いが得られることを期待したい。	ホール等に見て楽しめるような、季節の飾りや行事の時などに写した写真などを飾りたい。 飾る物も、レクリエーションの時間を利用し、作品も制作したい。	現在のレクリエーション活動が、体を動かしたり、わいわいと声を出したりすることのほうが好まれていることもあり、何かを作成することが少ない。利用者様に協力を得ながら、好みではなくても、少しでも取り組んでいただけるように、いろいろな作品などを制作したい。 また、異食・収集癖などの利用者様もおられたため、手の届かない部分に飾るなど注意する。	3ヶ月
2	23	職員の良好なチームワークでケアを実践しているが、繰り返し利用者・家族の意向等を聞き取り、記録したことをさらに活用して、次のステップのケアプランに繋げていくことを期待したい。	現在よりもさらに、利用者様一人ひとりの希望や意向を把握したい。 意思表示が困難な方についても、本当の思いや希望をくみとりたい。	希望を意見できる方も多くおられ、それぞれに希望など伝えてくれることが多い。希望に添えるように対応したいが、意思表示が困難な方との対応の違いなどが無いよう注意したい。意思表示が困難な方でも、会話のひとつひとつを聞き取ったり、利用者様のご家族の方とも、会話を多くして、改めて以前の暮らしや生活歴などを聞き、ケアプランに取り入れたい。	6ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。